

大学入学者選抜の新展開

— 新共通テストの課題と個別選抜改革の方向性 —

日時 / 2017年9月24日(日)
13:00~17:45 (開場12:30)

場所 / 一橋大学一橋講堂 (定員500名)
(東京都千代田区一ツ橋2-1-2 学術総合センター2階)
http://www.hit-u.ac.jp/hall/file/menu-016/file_01.pdf

■ プログラム

開会挨拶 山本廣基 (大学入試センター 理事長)

基調講演 川嶋太津夫 (大阪大学高等教育・入試研究開発センター長)
「入試改革の世界的状況と日本の課題」

報告1 大杉住子 (大学入試センター 審議役)
「新共通テストの概要と課題」

報告2 大津起夫 (大学入試センター 研究開発部長)
「モニター調査の内容と結果」

報告3 沖 清豪 (早稲田大学入学センター 副センター長)
「共通試験の役割と個別選抜改革」

指定討論 宮本久也 (東京都立西高等学校長)
木村拓也 (九州大学大学院人間環境学研究院 准教授)

全体討論 川嶋太津夫・大杉住子・大津起夫・沖清豪・宮本久也・木村拓也
司会／大塚雄作 (大学入試センター 試験・研究統括官)

閉会挨拶 浅田和伸 (大学入試センター 理事)

総合司会

山地弘起 (大学入試センター 試験・研究副統括官)

■ 参加申込

大学入試センターのホームページか、下記のQRコードより、
9月19日(火)までにお申し込みください。



なお、原則として先着順で受付を行い、
定員に達し次第、締切となりますので、
ご了承ください。

お問合せ

kenkyushien@cen.dnc.ac.jp
TEL. 03-5478-1216

去る7月に文部科学省より大学入学共通テスト実施方針が出され、2020年度以降の新たな共通テストのあり方が示されました。しかしその実施に向けては検討課題が残されています。そこで本シンポジウムでは、当実施方針を踏まえて新共通テストに関する諸課題を整理するとともに、共通試験と不可分である個別選抜の改革の方向性を吟味します。内容は、まず基調講演で入試改革の世界的状況と日本の課題について紹介していただき、次いで、新共通テストの概要と課題、2016年度に実施されたモニター調査の内容と結果、そして共通試験の役割と個別選抜改革について報告していただいたうえで、高校、大学双方の現場からのフィードバックをもとに全体討論を行う構成としています。

■ 登壇者プロフィール



川嶋太津夫 (かわしま・たつお)

名古屋大学大学院で教育社会学を専攻。名古屋大学教育学部助手を経て、1993年に神戸大学大学教育研究センターに助教授として赴任。その後、1999年に教授に昇任。大学教育推進機構および大学院国際協力研究科教授。2013年10月より大阪大学未来戦略機構教授、2016年6月より大阪大学高等教育・入試研究開発センター教授・センター長。他に、第9期中央教育審議会大学分科会臨時委員(大学院部会、専門職大学院WG、制度・教育改革WG、認証評価機関の認証に関する審査委員会)、大学改革支援・学位授与機構運営委員、研究開発部客員教授、大学機関別認証評価委員会委員、国立大学協会入試委員会専門委員、大学入試センター全国入学者選抜研究連絡協議会企画委員会委員長等。現在の専攻分野は比較高等教育論。主な研究成果としては、『初年次教育：歴史・理論・実践と世界的動向』、『大学改革の現在』、『大学のカリキュラム改革』(いずれも共著)などがある。



大杉住子 (おおすぎ・すみこ)

大学入試センター審議役。文科省において幼保連携改革、教育課程行政、大学改革、キャリア教育、国際教育協力など教育制度を中心に担当。ユネスコ教育局アソシエイトエキスパート、愛媛県教育委員会保健スポーツ課長、在イタリア日本国大使館文化科学アタッシュェなども経て、平成26年から文科省初等中等教育局教育課程企画室長として学習指導要領改訂を担当、平成29年4月から現職で新テスト作問に関する業務を担当。



大津起夫 (おおつ・たつお)

大学入試センター研究開発部長。1983年北海道大学文学研究科修士課程(心理学専攻)修了。民間企業勤務、北海道大学文学研究科教授を経て2003年度より大学入試センター研究開発部教授。2014年度より現職。専門は心理統計学。



沖 清豪 (おき・きよたけ)

早稲田大学入学センター副センター長、文学学術院教授。早稲田大学大学院文学研究科博士後期課程教育学コース退学。早稲田大学文学部助手、国立教育研究所教育経営研究部高等教育研究室研究員を経て、1999年より早稲田大学文学部(組織変更で現文学学術院)所属。2012年より入学センター副センター長。専門は教育制度論、高等教育論で、初年次教育学会常任理事等。編著に『データによる大学教育の自己改善—インスティテューショナル・リサーチの過去・現在・展望』(2011年、学文社)等。



宮本久也 (みやもと・ひさや)

東京都立西高等学校長。筑波大学第一学群人文学類卒業後、都立高校教諭、東京都教育庁指導部指導主事、主任指導主事(高校改革担当)、都立学校教育部入学選抜担当副参事、指導部高等学校教育指導課長、指導企画課長などを経て、2012年4月より現職。全国高等学校長協会会長、全国普通科高等学校長協会理事(2015年より)、中央教育審議会初等中等教育分科会臨時委員(2015年度より)、高大接続システム改革会議委員(2015年)等多くの審議会委員を務めている。



木村拓也 (きむら・たくや)

九州大学大学院 人間環境学研究院 教育社会計画学講座 准教授。2005年 東京大学大学院教育学研究科 修士課程修了。2007年東北大学大学院教育情報学教育部 博士後期課程中退。博士(教育学)。京都大学、長崎大学を経て、2016年8月から現職。日本教育社会学会理事。専門は、教育社会学。